

31. トレビス

・殺虫剤

IRAC コード	薬剤名	使用方法	使用時期	使用回数	備考
6	アフーム乳剤	散布	収穫前日まで	3回以内	
11	ゼンターリ顆粒水和剤	散布	発生初期(但し、収穫前日まで)	-	野菜類(はくさい、キャベツを除く)
4	モスピラン顆粒水溶剤	散布	収穫前日まで	1回	

注1) 使用回数はその薬剤の使用回数を記載しており、この他に薬剤に含まれる成分毎に、総使用回数が決められているので、農薬ラベル等を確認してそれを超えないように注意する。

注2) 薬剤抵抗性の出現を防ぐため、「FRACコード」や「IRACコード」を参考にしながら他系統剤とのローテーション使用を心掛ける(「薬剤抵抗性管理」参照)。

注3) 農薬登録上の作物名が標記の作物名と異なる場合、備考欄に記載した。

注4) 蚕毒・魚毒については、「56. 野菜類の総括注意」も参照する。

病害虫名	防除時期	防 除 方 法	注 意 事 項
アブラムシ類	生育期間	1. モスピラン顆粒水溶剤2,000倍液を散布する。	1. モスピランは蚕毒に特に注意する(特別指導事項参照)。
オオタバコガ	生育期間	1. アフーム乳剤、又はゼンターリ顆粒水和剤の1,000倍液を散布する。	1. オオタバコガの産卵最盛期は7～8月末である。この時期の作型では薬剤抵抗性発達回避のため、ローテーションしながら発蛾盛期を中心に1週間間隔で2～3回散布する。 2. アフームは蚕毒及び魚毒に、ゼンターリは蚕毒に特に注意する(特別指導事項参照)。